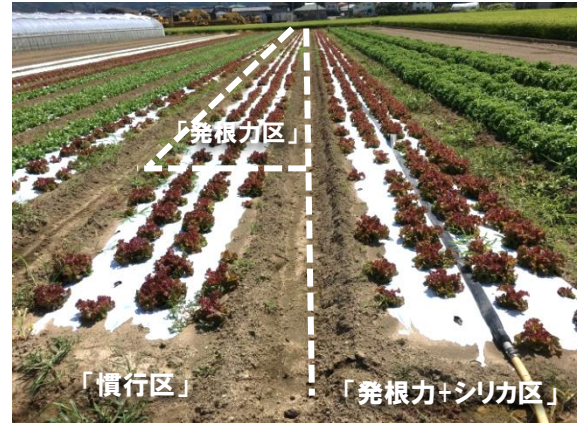


目的：サニーレタス定植圃場に土壌改良資材「サンオリエントシリカ」混合し生育への影響を確認。
また、発根促進資材「発根力」との併用による根への影響を比較。

8月4日(木)サニーレタス定植 試験開始～

8月4日(木)定植のサニーレタスの収穫に合わせ、「慣行区」、「発根力区」、「発根力+サンオリエントシリカ区」の比較確認を行った。発根力はプラグトレイごとに500倍溶液へ約10分間の浸漬後定植を行ない、サンオリエントシリカは粒度 mesh20 サイズを1a弱当り20kgを畝立て時に土と混合した。



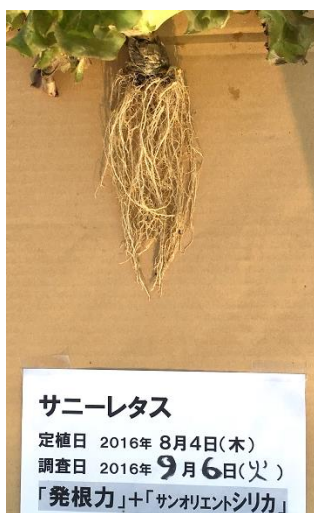
8/4(木)サニーレタス定植後の様子→
定植後から高温(36℃以上)が続き、
全体的に活着が悪かった。

9月6日(火)サニーレタス収穫 試験結果

①根の状態(発根量の比較)



左より「発根力+サンオリエントシリカ区」、「発根力区」、「慣行区」収穫時の根の状態。前回のグリーンリーフと同じように、根の長さに関しては慣行区が若干長かった。ただ、やはり細根・根毛の数は発根力区が多く、発根力+シリカ区は更に多かった。この点も前回のグリーンリーフの結果と類似している。これまでの結果、発根力の発根機能は主に細根・根毛の充実であるといえる。加えてサンオリエントシリカとの併用では更なる細根・根毛の充実が確認できる。また、地上部の生育(大きさ)でも発根力+サンオリエントシリカ区の優位性が確認された。



「発根力+サンオリエントシリカ区」(拡大)

根量が一番多く、特に細根の充実が見てとれた。地上部の生育も良く株の大きさも他区を上回った。



「発根力区」(拡大)

前回のグリーンリーフより慣行区との根量の差はなかったが、それでも細根の量の違いは目で確認できた。



「慣行区」(拡大)

前回のグリーンリーフの時と同じく、根の長さは一番長かった。ただ、細根が少なかった。